

# 第5学年2組 国語科学習指導案

授業者 佐賀大学附属小学校 白井雄大

1 単元名 さあ、この後いったいどうなった！？～「私が好きな物語」紹介～

2 教材 世界でいちばんやかましい音（東京書籍 5年）

## 育成を目指す力

【資質・能力】 中心人物の人物像の変化を考える力。

【思考操作】 場面と場面を比べて、変わったところを探す。

【言語活動】 中心人物の人物像の変化をフリップにまとめる。

《学習課題》 この単元では、中心人物の人物像の変化を考えることができるようになる学習をします。課題は、場面を比べて変わったところを探し、フリップにまとめることです。

上記の《学習課題》は、学習指導要領C(1)エ（人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること）を受けて設定している。中心人物の変化を捉え、その理由を山場から探し出すことは、人物像や場面の移り変わり等、物語の全体像を捉えることにつながっている。

## 言語活動とその特徴

並行読書として読み進めた物語を、フリップを使って友達に紹介する言語活動を設定する。設定場面と結末場面、中心人物の変化が描かれている山場場面を、それぞれ要約してフリップに書き出させる。山場場面と結末場面を隠した状態で提示し、中心人物がどのように変化したか、聞き手に予想させながら説明し、目隠しを剥がしていく。

中心教材で学習した方略を、並行読書してきた物語でも用いることは、方略の習得・活用に効果的であろう。また、物語がどのように変化したのか興味をもって聞くことは、これから読書習慣に良い影響を与えるだろう。

## 3 単元観

### (1) 児童について

本学級の児童は、4年生までに物語の読解を通して、中心人物の心情変化や物語の中心場面、視点人物の転換を捉えるといった方略を習得してきた。それらの方略を用いて、物語を構造的に読んだり、解釈をもったりする経験をしてきている。5年生になってからは、『だいじょうぶだいじょうぶ』の教材を通して、表現を工夫しながら音読をする学習に取り組んだ。

現在の課題は、新しく出会った物語の読解において、意図的に方略を使って読むことができない点である。自分の目的達成のために、方略のどれを使うことで、どのような読みができるのか。それを意識しながら、方略を活用する機会を設けたい。

## (2) 教材について

本教材『世界でいちばんやかましい音』は、三人称全知視点で語られる、人物の大きな変化が山場に描かれた物語である。時間経過による場面転換、設定、展開、山場、結末といった場面構造も分かりやすい。設定と結末の場面でそれぞれ町の様子が対比的に描かれており、山場の出来事をきっかけに中心人物の考え方も大きく変化する物語である。

以上のような理由から、「物語は山場で大きく変化する」という方略の習得に適した教材といえる。また、中心人物や町の変化を通して、主題を感じやすい物語である。主題についても触れることで、今後物語を読む際の新たな視点を意識させることができると考える。

## (3) 指導について

単元を通して並行読書をしつつ、『世界でいちばんやかましい音』の読み解きを進める。《私の問い》を立てる際には、《学習課題》を達成できるように、《私の問い》を段階的に更新する文言例（図1）を示す。このような文言例を室内に掲示し、学級全員で共有したい。

第一次では、指導者が作成したフリップを用いて、物語紹介を行う。言語活動のゴールの姿を示すことで、単元全体に見通しをもたせたい。また、《学習課題》を示した後、既習教材である『走れ』を用いて、「何が分かれば《学習課題》を達成できるのか」を段階的におさえる。既習教材から出てきた読み

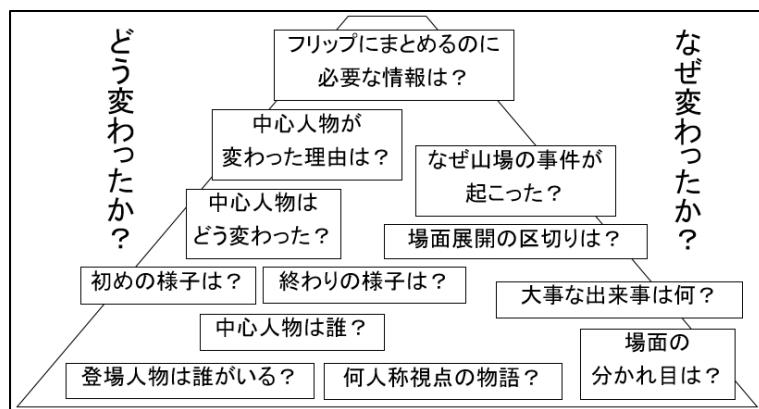


図1 《私の問い合わせ》を更新する段階的な文言例

みを元に、達成に必要な観点をまとめて図化（図1）し、室内に掲示しておく。

第二次では、《学習課題》から《私の問い合わせ》を立て、解決を目指していく。席を自由に動いての学び合い活動を基本とし、似通った《私の問い合わせ》を立てた者で集まって学習させる。《私の問い合わせ》の解決策として、方略を意識して考えられるように、既習の方略をまとめた掲示物や、学習用語を書きためたカードを活用させる。また、児童の読みや気付きを教室全体で共有したり、毎時間の学習の積み重ねを残したりできるように、児童がその時間に考えたことを、ホワイトボードや本文の拡大掲示物にまとめさせる。毎時間の最後に、ホワイトボードを黒板に集め、学習の成果を共有したうえで、次時の《私の問い合わせ》を作らせたい。

第三次では、並行読書をしてきた物語を使ってフリップ製作を行う。出来上がったフリップをクラス内で紹介し、感想を伝え合うことで、達成感を味わわせたい。最後に単元全体の振り返りを行い、本単元でどのような力が身に付いたのか、それを今後何に生かせるかといった視点で考えさせる。

## 4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人物の初めと終わりの様子、変化した理由を、図化してまとめている。	設定、展開、山場、結末に分け、中心人物や町の人々の人物像や、その変化を読み取り、想像している。	人物の初めと終わりの様子、変化した理由を図化してまとめたり、中心人物や町の人々の人物像、その変化を読み取り、想像したりしようとしている。

## 5 単元計画

次	時	主な学習活動（○）②《私の問い合わせ》と③《ふり返り・展望》	指導上の留意点（○）と主な評価規準（◆）【観点】
一	1 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 指導者が作成したフリップを見て、言語活動のイメージをもつ。</li> <li>○ 《学習課題》を知る。</li> </ul> <p><b>①《学習課題》</b> この単元では、中心人物の人物像の変化を考えることができるようになる学習をします。課題は、場面を比べて変わったところを探し、フリップにまとめることです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 『走れ』を用いて、《学習課題》達成までの見通しをもつ。</li> <li>○ 以降、単元を通して並行読書を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 言語活動のゴールの姿を示すために、フリップを提示する。</li> <li>○ 児童が本単元で身に付けさせたい力を意識できるように、《学習課題》を提示する。</li> </ul>
二	3 時間 (本時3 / 3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本教材『世界でいちばんやかましい音』を読み、初めの《私の問い合わせ》を立てる。</li> <li>○ 《私の問い合わせ》に沿って、中心人物の変容にせまる。</li> </ul> <p><b>②初めと終わりで、王子様や町の様子はどう変わったか。</b></p> <p><b>③王子様も町も、やかましい音好きから静けさ好きに変わっている。次時は、なぜ変わったかを考えたい。</b></p> <p><b>②王子様が静けさを好むようになったのは、なぜか。</b></p> <p><b>③世界で一番やかましい音を聞けると思っていたところ、生まれて初めて静けさと落ち着きを知ったから。しかし、期待外れだと怒ることだってあるはずだ。次時は、どうして好きになれたのかを考えたい。</b></p> <p><b>②王子様が静けさと落ち着きを好きになれたのは、なぜか。</b></p> <p><b>③王子様は、生まれてからずっと騒がしい中で育ってきた。そんな王子様にとって、生まれて初めて聞いた自然の音は、特別な音に感じられたのだと思う。これから他の本を読む時も、中心人物がどう変わったか、なぜ変わったのかを考えたい。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習をふり返り、次の《私の問い合わせ》を立てる。また、その解決策に見通しをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童が《私の問い合わせ》をもつ際、段階的に《学習課題》達成に向かうことができるよう、『走れ』の教材を用いて、《学習課題》達成に必要な観点をおさえる。</li> <li>○ 前時に作成した文言例の観点を用いて、《私の問い合わせ》を立たせる。その際、児童の実態に応じて、そのまま文言例を選ぶ、文言例を教材に合わせて具体化するなどの個別支援を行う。</li> <li>○ 児童の進度に応じて問い合わせを更新できるように、本時の中でも《私の問い合わせ》を増やしたり、変更したりして良いことを伝える。</li> <li>○ 児童の学びの足跡を残し、また他の児童と共有できるように、話し合った内容をホワイトボードや拡大本文に書かせる。授業後に写真を撮り、まとめた物を集めて掲示物とし、次時以降の解決の参考にできるようにする。</li> <li>○ 《私の問い合わせ》を解決した方法を、方略と結び付けて全体で共有する。</li> <li>○ 言語活動を常に意識するように、毎時間、読み取ったこと、新たに分かったことをフリップに書き加える時間を設ける。</li> <li>○ 児童が《学習課題》達成までの見通しをもてるよう、文言例を用いて、自分の現状を把握させる。また、新たな《私の問い合わせ》を立て、解決策を考える活動を仕組む。その際、既習の方略を掲示しておき、参考にできるようにしておく。</li> <li>◆ 中心人物である王子様の変容とその原因を、展開場面とも関連付けてまとめることができている。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【思考・判断・表現】</p>
	1 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 《私の問い合わせ》に沿って、『世界でいちばんやかましい音』をフリップにまとめる。</li> </ul> <p><b>②山場場面の出来事は、どうまとめたらよいか。</b></p> <p><b>③生まれて初めて静けさを知ったことに加えて、展開場面から、それが誕生日プレゼントだったことを書き加えよう。並行読書の本で書くときも、山場場面だけでなく、展開場面からも付け加えをしよう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ フリップを友達に紹介し、感想を伝え合う。</li> <li>○ 二次の活動をふり返り、三次で自力解決できる読み方をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教師作成のフリップを見本として示し、書き加えてきた情報の中から物語の本筋に関するものを選び、まとめるように示唆する。《学習課題》に立ち返り、山場の効果に着目できるようにする。</li> <li>○ フリップを見る視点として、自分との共通点や相違点を探すことを伝える。二次の活動によって生まれた、解釈の違いを感じさせたい。</li> <li>○ 三次の活動で、課題解決までの道筋が見えるように、これまでの《私の問い合わせ》と、その解決方法を振り返る時間を設ける。</li> <li>◆ 中心人物である王子様の変容とその原因を図化してまとめることができている。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【知識・技能】</p>
三	2 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 並行読書してきた物語について、中心人物の変容とその原因を考え、図化してフリップにまとめる。</li> <li>○ フリップを友達に紹介し、感想を伝え合う。</li> <li>○ 単元のふり返りを行い、何ができるようになったのか考える。</li> </ul> <p><b>③今回の単元では、中心人物の人物像の変化を捉えられるようになった。その変化のきっかけが描かれている部分を山場場面といい、そこががらりと変わる。今後、他の物語も意識して読んでみたい。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 並行読書の物語は、児童の実態に応じて決定させる。指導者が本の内容を把握しておき、場合によつては、変容が分かりやすいものを選ぶように促す。</li> <li>○ 変容を聞いて、本に興味をもつたり、読んでみたくなったりした等の感想を伝え合うことで、言語活動に有用感を味わわせたい。</li> <li>◆ 並行読書をしてきた本について、既習の考え方を活用しながらフリップ製作に取り組んでいる。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【主体的に取り組む態度】</p>

## 6 本時の指導（4／7）

### (1) 目標

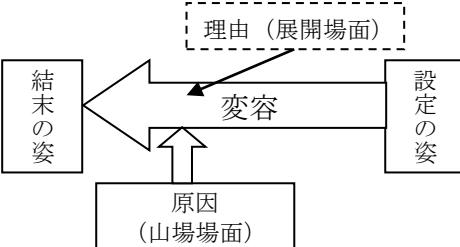
王子様の人物像の変容と、その理由を捉えることができる。

### (2) 評価規準

王子様の変容とその原因を、山場場面と展開場面とを関連付けて、まとめている。

【思考・判断・表現】

### (3) 展開

主な学習活動、②《私の問い合わせ》と③《ふり返り・展望》	形態	指導上の留意点と形成的評価（◆）【観点】
<p>1 前時までの学習をふり返り、本時の《私の問い合わせ》とその解決策を確認する。 (5分)</p> <p>②中心人物は誰か。 ③王子様。やかましい音好きから静けさ好きに、人物像が大きく変わっているから。</p> <p>②王子様は、どうして変わったのか。 ③生まれて初めて静けさを知ったから。物語が一番盛り上がる山場場面で変わった。</p>	齊	<p>1-(1) 本時の活動の中で、似た問い合わせを立てた児童同士を探せるように、前時のふり返りの時点での《私の問い合わせ》一覧をまとめておき、掲示しておく。</p> <p>1-(2) 児童のレディネス調整のために、前時までの《私の問い合わせ》とふり返りを例に挙げ、話し合いの結果を共通理解する。</p> <p>1-(3) 児童の読みを揺さぶり、王子様が変容した原因に意識が向くように、「誕生日プレゼントに、お願いしていたゲームと真逆の問題集をもらって嬉しい？」と問う。</p>
<p>2 《私の問い合わせ》に沿って、なぜ中心人物が変容したのか、その理由を考える。 (20分)</p> <p>(1) 個人で理由を考える。</p> <p>②世界中の人が黙ったことで、王子様が静けさと落ち着きを気に入ったのは、なぜか。 →生まれて初めて自然の音を聞いたから。</p> <p>②山場場面に向かうまでの、設定・展開場面に書かれていることは何か。 →図化してまとめる。</p> 	個	<p>2-(1) 児童が考える参考にできるように、前時までの学習を記したホワイトボードの一覧や拡大本文を掲示し、自由に見に行けるようにしておく。</p> <p>2-(2) 本時の時間内での課題解決ができるように、早い段階で形成的評価とその支援を行う。前時が終わった時点でのノート等を参考に、C評価の児童を把握しておく。</p> <p>◆王子様の変容とその原因、理由を捉えているか。 （ノート、ホワイトボード等）【思考・判断・表現】</p> <p>A 王子様が変容した原因を山場からまとめ、理由を展開場面から結び付けている。</p> <p>B 王子様が変容した原因を山場からまとめている。 →なぜ静けさを好みようになったのか、その理由を考えるように問いかける。</p> <p>C 王子様の変容と、その原因をまとめていない。 →前時までの板書や拡大本文を掲示している場所へ連れて行き、他者の意見をふり返らせる。</p>
<p>②王子様が変容した理由を、王子様のこれまでの人生と関連付けて考える。 →生まれてから5年間、一度も静かになったことがない。起きてから寝るまで、常にやかましい中で生きてきた。私達とは違う、特殊な環境だからこそ、静けさが特別なものに感じたはず。</p> <p>(2) 自由に席を移動し、学び合いを行う。</p>	グ	<p>2-(3) 《私の問い合わせ》で王子様以外の変容に注目している児童は、その問い合わせの解決を話し合うよう示唆する。その後の活動で、皆に紹介するように促し、価値付けする。</p>
<p>3 本時の活動を、学級全員で共有する。 (10分)</p> <p>4 本時の学習をふり返り、次時の展望をもつ。 (10分)</p> <p>③王子様は、生まれてからずっと騒がしい中で生きてきて、それが当たり前になっていた。誕生日当日まで、どんどん期待が膨らむ中で聞いた自然の音。だからこそ、王子様の心を打ち、変容したのだろう。次時は、この王子様の変容を、フリップにどうまとめたら良いか考える。</p>	齊 個	<p>2-(4) 読みの共有を図るために、考えたことを、ホワイトボードや拡大本文等に書くように伝える。</p> <p>3 児童の読みを価値付けし、気付きを共有するための時間を設け、共通点や相違点を確認する。</p> <p>4-(1) ふり返りで本時の学びをメタ認知できるように、問い合わせを解決できたか、どう考えたか、どう考えたら良かったかを問う。</p> <p>4-(2) 次時は、計画上フリップにまとめる段階であることを確認し、《学習課題》や文言例を参考に、次時の展望を問う。</p>

